

## 第5回日本博物館協会賞の受賞決定について

11月27日に長野県松本市で開催される「第72回全国博物館大会」において、小樽市総合博物館が「第5回日本博物館協会賞」を受賞することが決定されました。

賞の名称 日本博物館協会賞（第5回）  
受賞日 令和6年11月27日（3月15日決定・4月25日通知）  
授賞式 第72回全国博物館大会（長野県松本市 まつもと市民芸術館）  
受賞者 小樽市総合博物館  
授賞団体 公益財団法人日本博物館協会（※）

### 【受賞理由】

年間800万人もの観光客が訪れる北海道小樽市は、昭和後期から市民による「運河保存運動」など先進的なまちづくりが行われ、海の玄関口として北海道経済を支えてきた。その小樽市内に点在する小樽市博物館（昭和31年開館）、青少年科学技術館（昭和38年開館）、小樽交通記念館（平成8年開館）の3つの博物館が平成19年に再編、機能を統合して小樽市総合博物館として改称、再出発することになったのを機に、総合博物館は社会教育機関としての役割を担うとともに観光への活用を掲げた。歴史的景観には史実の裏付けが必要であり、その役割が博物館に求められたためである。

近年では隣接する旧小樽倉庫に開業した商業施設との連携、文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律に基づき認定された「小樽芸術村を中核とした小樽運河地区の文化観光推進拠点計画」における小樽歴史景観区域等を拠点とした活動などを通じて、地域のネットワークを強化し、地域経済の好循環が生まれる構造を創るべく、積極的に取り組んでいる。このように小規模な地方博物館でありながらも、地域のアイデンティティを確立した都市再生が博物館活動とともに進んでいる好事例として、日本博物館協会賞の受賞館として相応しい施設と言える。

### ※「公益財団法人日本博物館協会」

博物館に関する各種事業の実施を通じ、国の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として活動している団体。

「日本博物館協会賞」は令和2年創設。日本の博物館の振興に大きく貢献し、他の博物館の模範となる顕著な成果を挙げていると認められる国内施設を顕彰するもの。

会長 山梨 絵美子氏（千葉市美術館館長）  
事務局 黒田記念館別館内（東京都台東区上野公園 12-52）  
過去の受賞者 明石市立天文科学館（第4回）、大原美術館（第3回）、福井県年縞博物館（第2回）、北名古屋市歴史民俗資料館・ちひろ美術館（第1回）